



# クラブ 会報

## CLUB BULLETIN (WEEKLY)

### 鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30~13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
		電話 0235 247711

会長	嶺	岸	光	吉
幹事	佐	藤	村	衛
会報委員長	川	池	德	男
	小	海	繁	治
	西	藤	正	一
	佐			昇

---

No., **1111** 1981. 6. 16 (火) (晴) No.,49

---

### ヒンター紹介

早坂重雄君	生命保険	一酒田東R.C	}	鶴岡西R.C
佐藤成生君	金物販売			
松田善三郎君	製麵			
原田行雄君	遠洋漁業			
瀬尾助三郎君	自動車教習所			
加藤有倫君	清酒製造			

### 会長報告

嶺岸光吉君

◎去る13日(土)14日(日)地区協議会に次期会長・幹事・役員出席、大変ご苦勞様でした。

# TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

- ◎ブラジル、サンパウロ大会の報告（三井 徹君）
- ◎第6回クラブ協議会開催  
6月16日 PM4時～ 次年度各委員長（計画書検討）  
PM5時～ 現委員長事務引継  
PM5時30分～ 懇親会

## 幹 事 報 告

次年度副幹事 佐藤元伸君

- ◎会報到着  
能代R.C、ユネスコ新聞
- ◎例会変更
  - 温海 R.C—6月29日 午後6時点鐘 滝の屋旅館 登録料 3,000円
  - 鶴岡西R.C—6月26日 午後5時点鐘 湯野浜温泉 竹屋ホテル  
登録料 5,000円
- ◎例会場変更
  - 山形南R.C—山形市十日町四丁目2—7 ホテル キャッスル2F
  - 浪江 R.C—福島県双葉郡浪江町 東邦銀行浪江支店2F
- ◎新旧役員によるクラブ協議会 4:00 中国飯店
- ◎I.G.F（庄内分区）9月5日を9月20日変更（余目公民館）

## 委 員 会 報 告

- ◎ 世界大会に出席して

三井 徹君

23日に発ってニューヨークに直行、向こうが8～9時間というような大分遠い感じがしました。しかし最近の飛行機は楽で、あまり揺れませんし、そう疲れたという感じはしませんでした。

大会は、参加者が2万人前後ではないかと思いますが、会場は、鉄骨コンクリートの床で、そこに急造の舞台をつくったというような会場ですので、非常にやかましいし、落ちつきがなくて、会議といった感じはもてないようなところでした。いろんな分科会があって、環境保全活動の将来だとか、国際奉仕の将来だとか、保健飢餓追放、人間尊重のプログラム、或は青少年交換計画の将来だとか、分科会は割合落ちついた会場があってやっているようにみえました。

そういうことで出れば大会の本当の意味があるんだと思いますけれども、旅行社の方でも日程上どんどん廻ってしまうような格好で、会議に出て、発会式を見て、観光というのが、大部分のコースのようでした。

ブラジルへ行きますと、こういう席に立ちますと、こんにちわとか、また、人と会いますとよく、ありがとうという言葉が聞かれますが、そういうことを言うようにといわれているようです。サンパウロが、ブラジルの経済発展の拠点というわけですが、人口が約50万、10階前後の中高層ビルが林立しております、これが数としては世界一だと云っていました。それ以上高いものは禁止されているということです。

サンパウロの日本人の商店街は、提灯を形どった照明なんかして、きわだっけきれいな見えました。やっぱり日本人は活躍しているというふうに見えました。日本人は、サンパウロ周辺が多いそうですけれども、成功者もあるし、困っている方もいるということで、日本からやってきたロータリアンを歓迎する委員会が出来ていて、パーティーをやって下さったのですけれども、100ドルの会費で半分は福祉の方へ寄附をしたいというような注文がありました。私どもの海外旅行社のパーティなんかにも来て、困っている人に何かしてくれというようなアピールがありました。やはり経済発展はしているけれども、貧富の差が相当ひどく、大変だらしいと見えました。活発な感じはしましたが、ごみごみした感じも大分ありました。ここで日本の若い人が意外と成功してやっている店をみました。サンパウロのクラブの会員のようですけれども、30~40才位の人で、お土産や宝石を売っている非常にいい店をやっていました。それと、「椿」という日本料理店をやっている、これも30~40才位、甲子園 R.C の会員というので、日本へ行ったり来たりしてやっているんだと、そういうふうに若い方が非常に元気でやっております。

例のイグアスの滝という世界一大きい滝があるというので見に参りましたが、これは幅が5キロ、高さが100メートルといわれ、絵はがきよりも実際の方はもっと迫力があるという感じです。これがまたナイアガラと較べて、ナイアガラは、もうあたりが都会化したような感じですが、イグアスの方は、蝶々が手にとまるというふうな状況で、大きな自然の中にそのままある感じです。これは非常に感心して見て参りましたし、またその途中の世界一のダム建設が今始まっているというのも飛行機の上から見てきました。

リオデジャネーロは、前の首都だったわけです。今は、ブラジキヤに移っていますので、ここを見たいと云ったら、あそこは見ても面白くない、建築家でなければ行かなくともよいのではないかという話で、とうとう行きませんで、飛行機の上から見ただけです。

リオデジャネーロは昔からの首都だった関係で、西欧風の非常にきれいな街

という感じがします。ここで目につくのは、西欧風のビルがたくさんあることと、暮坪の岩の10倍もあるような大きな岩が2つ3つあって、そこをケーブルカーでつないで景色をみようという施設があり、或はまた、800メートル位の山の上に、ムッソリーニが建てたという70メートルのキリストの像が立っているというような面白いものもありました。イタリー人が、相当ブラジルに移民して活躍しているという状況のようでした。

ここは非常にきれいな街で、ハワイのワイキキのような浜辺があったり、感じのよいところでした。しかしやっぱり治安は余り良くないようで、夜は物騒だから出るなということで、ブラジルでも拳銃なんか持つのは自由なんだそうです。かっぱらいといったものも相当あるので、旅行社としては安全第一で夜はなかなか出してくれないという状況です。

ここで目につくのは、20万人位入るサッカー場があります。サッカーは、街を歩いていると日本の草野球以上に、小供達がサッカーのボールを持って、あちこちで遊んでいるという光景が見られます。ブラジルの名物としては、サンバですが、夜、サンバのショーをさかんにやっているようです。これはアフリカから来ているんだそうですが、ジャズの方は相当変形しているけれども、サンバは原形に近いんだそうです。それから経済状態の話なんですけれども、バスの運転手の給料が月に3~4万クロゼーロということですが、その2倍で日本円になりますから7~8万円ということになりますか、なかなか大変のようです。

次に赤道直下アマゾンの様子を見ようということでまいりました。アマゾンというのは、前に山口さんという探検家から大体のことは聞いているわけですが、行ってみてやはりびっくりします。全長6,200キロ、幅が90キロという川で勿論向こう側は見えませんし、我々が行ったところは河口から3,000キロ位上流になっているんですが、それでも向こう側が見えるか見えないかなんです。そして或る程度上流にのぼりまして、今ちょうど秋口で雨季に入っています。赤道直下ですから直射日光の下ですと相当暑いんですが、日陰だとそんなでもないようでした。それで20~30人乗りの小さな船で、ずっとのぼってジャングルの中へ、小さい支流に入っていくと、そこにはいろんな動物が居るというような話で驚ろかされましたが、我々の行ったところには猛獣は出ませんでした。また、そのあたりには水上生活者が大分見えまして、その連中が小さい舟で色んな民芸品などを買ってくれと集まってきます。

また、アマゾンのマナースという、昔その附近のゴム産業が発展したときの非常に繁盛した街らしんですが、現在は人口が20~30万人で、今はちょっと活気が出ていますが、一時はゴーストタウンになるんじゃないかと云われたところだそうですけれども、その街に、パリのオペラ座を小型にしたような代理石

造りの立派なオペラ劇場が出来ていて、昔の繁栄を偲ばせるというようなものもありました。そしてそのマナースが現在アマゾンの開発の拠点になっています。ブラジルは日本の国土の23倍ありますが、その59%という広大な面積がジャングル地帯で、その中にはいろんな資源があるらしいということ、盛んに資源開発をやっているようです。そのマナースの附近のアマゾン河のあちこちに港が新しくできて、そこに日本の企業が進出しています、日本の企業というのはたいしたものだという感じを受けました。そんなアマゾンの雄大さにはどぎも抜かれましたが、この広大なジャングルが開発されてブラジルという国が発展して行くんじゃないかという感じを受けました。

ブラジルは今、日本の23倍の領土の中に1億3千位の人口が居て、そのうち日本人は75万人前後とっております。あとは、インディオ、ポルトガル、黒人、東洋人など色んな民族が混っており、複雑な環境にあるようです。まだ貧富の差がひどいものですから、文化の程度としては、就職率がまだ80%以下だろうということで、発展途上国という感じを免れないようです。

リオのカーニバルは、3日4晩ぶっ続けのお祭りさわぎで、死者が出る位の熱狂的なものだというような話で、驚いてました。ブラジルは色々宝石が出るようです。そして比較的安く手に入るような感じを受けました。ダイヤはあまりたくさんないそうですが、トルマリンとか、ガーネット、アメジスト、エメラルド、アクアマリンだとかいうものが非常に沢山ありまして、少しは買って参りましたが、税関でも、こういうものを申告しても見ようともしませんでした。日本から来た者に対して税関は至って寛大な様子です。それから車はフォルクスワーゲンが殆んど大部分で、向こうに工場があって作っているんだそうです。ガソリンは不足で、アルコールを使っているということですが、アルコールがガソリンよりも安くできるというようなこと云っております。

食べる方の話になりますが、名物料理が2つありまして、いわゆる奴隷料理というような、これは皿の中に血液の古いものが入っているんじゃないかというようなドロとした液の中に、豚の耳とか、鼻とか、臓物とか、骨付きの肉とか色んなものが入っているんです。これはうまいと云われてもちょっと手が出ませんでした。これは昔、奴隷がひどい環境の中で残り物を何日も何日も煮込んで、向こう特有の豆みたいなものを入れて作って食べたんだそうですが、それを食べると非常に元気がついて顔色が良くなるということなんです、それを今でも各レストランで週に1回か2回は出すというふうに名物料理になっているそうです。それからシュラスコというバーベキュー料理があるんですが、これは鉄棒の長いやつに肉とかソーセージみたいな形のものとか牛とか豚とか鳥肉とか色んなものを刺したまま熱いを出して、これを切って食べる。これがうまいことうまいんですが、堅いので我々のような歯の悪いものは手が出

せんでした。

一つハプニングがありました、ニューヨークの空港で、私が後ろから肩をたたかれて、あなたの上着に何かついてますと云われて、脱いで見たらチョコレートのかしたようなものが、だらっとかけられているので、洗面所へ行って着替えて、気がついたら財布が抜かれています。余り入っていなかったのですけれども、全然、財布がどうということに気がつかないのですが、相当腕のよいプロだと思うんです。それで困っていたんですが、サンパウロのアカシヤというところのおやじさんがカエルの皮の財布をもってきてくれました。お金を使っても、またかえってくるという縁起が良いのだそうです。

### 出席報告

本日の出席	会員数	71名	欠席者	藤川君、板垣(広)君、金沢君、笹原君、諸橋君、齋藤(栄)君、齋藤(利)君、佐藤(昇)君、佐藤(衛)君、石塚君、高岸君、玉城君、富樫君、吉野君
	出席数	57名		
	出席率	80.28%		
前回の出席	前回出席率	80.28%	ミークアップ	三井(徹)君、三井(賢)君、佐藤(元)君 一郡山R.C 黒谷君、庄司君、横田君一鶴岡西R.C
	修正出席数	63名		
	確定出席率	88.73%		